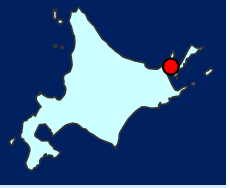
第4種 ウトロ漁港（北海道斜里町）

ウトロ地区特定漁港漁場整備事業計画

ウトロ地域マリンビジョン策定（モデル地域）

網走東部
第1圏域
流通拠点



現状と課題

・近年の漁船大型化により、漁船保管施設用地が不足しており、用地確保に課題がある。
・幹線道である一般国道の通行止めによる孤立化及び護岸からの越波・越流による漁業活動への課題がある。
・サケ稚魚を中間育成（馴致）するための安全水域の確保に課題がある。

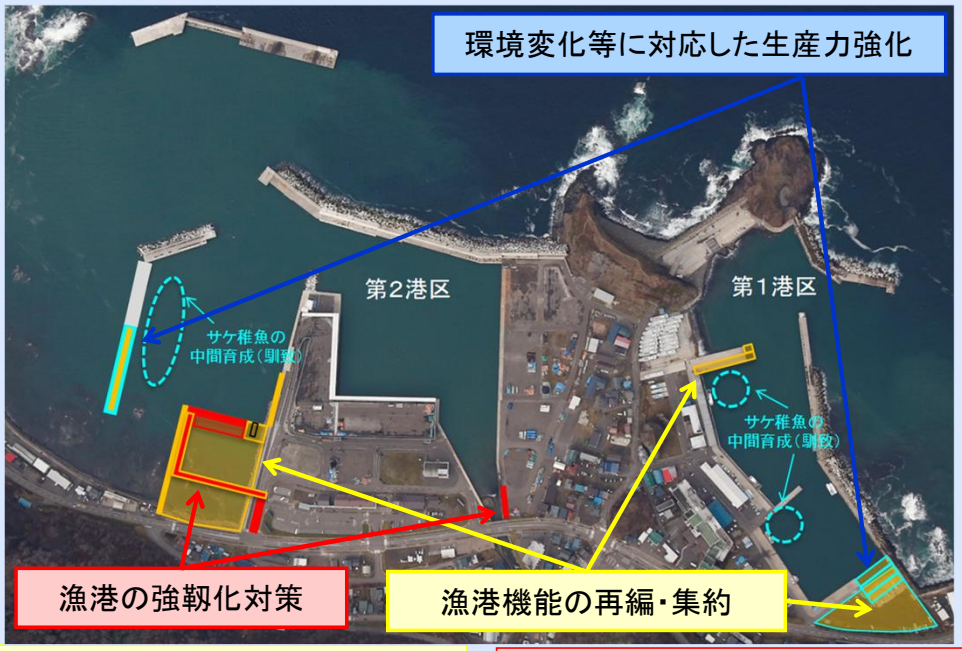
港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：78隻
利用漁船：112隻
（内、外来漁船：34隻）
属地陸揚量：8，376トン
属地陸揚金額：48．8億円
主な魚種：サケ類、ブリ類
組合員数：164人

◎ウトロ漁港の役割

・サケ・マス定置網漁業を中心とした沿岸漁業の流通拠点
・周辺・海域で操業する漁船の避難拠点

主　要　対　策



主な整備方針

・定置網漁船の大型化等に対応するため、既設岸壁及び用地の再編・集約を行うとともに、新埠頭の整備を行う。
・大規模災害発生時における孤立化対策として、耐震強化岸壁の整備を行う。また、背後用地への越波・越流対策として、中護岸の嵩上げ改良を行う。
・環境変化等に対応するため、サケ稚魚の中間育成（馴致）に配慮した外郭施設及び係留施設の整備を行う。

基本事項

全体事業費：57．0億円
事業期間：R5～R14

主要な対策①：漁港機能の再編・集約

漁船大型化に伴う用地不足

網補修に必要な用地不足

主要な対策②：漁港の強靭化対策

斜里方面は地震・津波等の災害発生時に遮断される危険性がある。
※土砂災害・暴風雪による通行止めも発生。